

私たちは「よりよい学童クラブ」を目指して活動しています

CONTENTS

連協ニュース

西東京市学童クラブ連絡協議会

2005/No.

9

ブログのURL <http://blog.goo.ne.jp/renkyo1925/>

三多摩学童保育	1
フォーラム報告	2
定例委員会報告	
2006年度入所申込状況	3
情報コーナー	
「日本の学童ほいく」を読んで	
事務局ニュース	4

三多摩学童保育フォーラム大成功！

三多摩学童保育フォーラムが、2月26日（日）に行われました。当日は、あいにくのお天気となりましたが、西東京市民会館を全館使用して都内各市の学童クラブ保護者や指導員343名が集い賑やかな学習&交流の機会となりました。

このフォーラムは、西東京市学童クラブ連絡協議会（連協）と連協が所属する三多摩学童保育連絡協議会（三多摩連協）の主催で行われているもので、今回が18回目の開催でした。西東京では初めての開催、約10年前に合併前の保谷で開催されたときは100名程度の規模だったものが、年々参加者が増え、今回は過去最高の参加者数となりました。



雨のなか各父母会で分担して道案内や自転車整理などを行い、参加した他市の方々からは「西東京市の皆さんはすごい」との声も寄せられました。

開催に向けては、三多摩連協の方々と全体の構成や分科会の設定などについて打ち合わせ

新保先生の熱い語り口は感動の嵐！せを進めるとともに、開催自治体の連協が分担するオープニング部分の内容検討等にも時間をかけました。

特に子どもたちの日常風景を紹介しつつ、学童クラブの良さを表現しようという寸劇発表にあたっては、素材の検討からシナリオ・役づくりまで、指導員の先生方を交えた打ち合わせが行われました。子どもを真ん中においた保護者と指導員の信頼関係づくりが、より良い学童クラブ運営には欠かせないことを考えると、とても貴重な機会となりました。快く会場をお貸しいただいたことと合わせ、理解ある児童課の職員の方々にも恵まれている西東京市ならではの展開でした。

また、学童クラブについて理解が深まり交流が生まれる貴重な機会が、身近な場所で開かれることを一人でも多く知っていただけるよう、「三多摩学童保



市民会館がほぼ満員になりました

育フォーラム通信」を三回発行し全保護者の方々にお配りしました。

当日の全体講演会や12の分科会の様子はここでは詳しくご紹介できませんが、30名程度で予約していた懇親会会場に80名をこえる方が集まり、遅くまで交流を深めていたことから、その熱い中身についてはご推察いただければ幸いです。

最後になりましたが、児童課のみなさまや指導員の先生方にこの場をおかりして厚く御礼申し上げます。（文責：向台保護者・事務局員 中曽根）



指導員と父母で学童の子どもたち生活を劇にした、歓迎行事

128名の参加ありがとうございました！

3/26に行われた三多摩学童保育フォーラムに西東京から父母、指導員合わせて128名の参加がありました。これは1市での過去最高記録です。雨の中、本当にありがとうございました。また各父母会からは50名以上の方が道案内や駐輪場係りとして大雨の中お手伝いくださいました。重ねてお礼申しあげます。

◆寄せられたアンケートから

- ・セレモニーの劇は若々しい指導員の人たちばかりでうらやましい限りです。講演会はあらためて、子どもの大切さを感じました。子どもの視点に立つこと、忘れかけていました。
- ・新保先生の話はすごくよかったです。もっと多くの人に聞かせたかった。キーワードは子どもと毎日目を見て名前をよんで話すこと、実践していきたいと思います。西東京の寸劇、よかったです。指導員の協力して西東京学童のいいフニキが伝わってきました。



- ・新保先生の「～だよ！」の言葉を聞いたときに涙があふれました。大人になってしまうとあまりこういう機会がないので励みに、癒しになりました。力を抜いて良いところ、気をつけて継続しなければならないこと、改めて考えるきっかけになりました。
- ・子どもを真ん中にすえて大人がやるべきこと、決して無理をするのではなく「自分らしく」子どもに向き合う事がどれほど大切なのか先生の熱い思いがびんびん伝わってきました。今の時代を受け止め一人の大人として子どもに何を伝えていかなきゃいけないか考えていなくては、と思いました。



「分科会に参加して」

- ・自分だけが辛い思いをしてるのではない、みんなががんばっているとはげまされた。
- ・講師の方やみなさんのお話を聞いてとても感動したりためになりました。今日この分科会に参加して本当によかったです。
- ・みんないろいろな思いを抱えながら子育てをしている…ということがわかり、ちょっとほっとしました。自分に自信がなくなったときに回りに大丈夫だと声かけしてもらえありがたさを実感しました。



「フォーラムについて」

- ・保育をお願いしておりましたが、本当に良く見ていただき、子どもも大喜びでした。ありがとうございました。
- ・初めて参加しましたがとても為になるお話が多く、良かったと思います。今後も続けて参加していきたいです。
- ・自宅の近くでの開催だったので参加しました。学童の集会は初めてですが、来年も参加しようかな～？と思っている所です。
- ・名前をかえただけではない



ゾ！という意気込みが感じられました。

- ・この雨の中、これだけの出席があり、父母の思いの強さを感じました。指導員としてももっともっと意識を高めていかないと！と思います。お疲れ様でした。340名！すごい！
- ・会場が、こじんまりとしていて良かった。西東京の皆様ありがとうございました。

皆さんご意見ありがとうございました。来年もぜひ参加してください。
(事務局長 菊池)



定例委員会報告

2月18日に田無総合福祉センターにて第8回の定例会が開かれました。

主な話題や報告は以下のとおりです。

多くの皆様にご出席いただきました。ありがとうございました。

◆来年度に向け、2006年度の活動方針案の説明をしました。方針案の内容は今年度の活動方針をベースとして構成し、現在よりも更によりよい学童クラブを目指すことを目標にしています。3月定例会までに各父母会にて活動方針案についての考察をお願いいたしました。

◆来年度新しく開設される北原学童クラブの現時点で状況をお知らせしました。行政からいただいた建設図面と、実際の建物の様子を撮影した写真をスクリーンに映して見ながらの説明でした。建物はほぼ完成状態で、現在は外回りと内装等の工事のようです。児童課からの話では、今後はシックハウスの検査などがあり、その後に建設業者から行政に引渡しが行われるそうです。

◆1月29日（日）に西東京市民会館で行われた「子ども文化フェスティバル」に連協事務局が参加したことをお知らせしました。なぞの実験工作という題名でスライム作りなどを行った報告をし、スクリーンにその実験工作をしている様子を映し出してご覧いただきました。たくさんの子供がスライム作りをしている状況がよくお分かりいただけたようです。

◆2月26日（日）に開催の「三多摩学童保育フォーラム」について、その内容やお手伝いいただく要領についての説明がありました。実際のフォーラムでこのようなことが行われるという説明をスライド上映で行いました。

◆都の補助金制度改正についての説明がありました。一言では言い表せない難しい内容ですが、表やグラフを使った説明でなるべく分かりやすくしました。この補助金制度の改正は、名目は子育て推進となっていますが、本当に子育て推進になるのかどうか疑問も多く、また学童クラブだけではなく保育園団体にとっても深刻な事態になりそうです。詳細は連協ニュース2月号をご覧ください

2006年度入所申請状況について

「2006年度入所申請状況表（2/28現在）」を児童課よりいただきましたのでご報告します。なお、状況表は、3/18の定例委員会で各父母会の連協担当の方に配布していますのでご参照下さい。

◆申請者数は昨年と同数

2006年度は、学童クラブ数27、定員数1,310人、2/28現在申請児数1,405人（うち障がい児55人）となっています。2005年度は、学童クラブ数25、定員数1,180人、2/28時点での申請児数1,405人（うち障がい児48人）で、申請児数は全く同数でした。

◆2か所新設！1か所増設！定員が130名増

新設される2ヶ所の学童クラブは、(仮称)田無第二学童クラブと新設の(仮称)北原学童クラブです。現時点では(仮称)とついています。来年度スタート時には、(仮称)は外され正式名称となる予定です。

定員数は、(仮称)田無第二の50人、(仮称)北原の50人の他にひばりが丘の30人が増えて、合計130人の増加になり、定員超過率は定員増加により、2005年度入所申請同時期の119.％より12％程減少し107％となりました。慢性的定員超過に対して児童課をはじめ市の対応を評価することができます。

◆田無分室が(仮称)田無第二に！

個別には、(仮称)田無第二は、現在田無小の教室を借用していますが、2006年度秋頃には田無小敷地内に新設され移動する予定です。

◆ひばりが丘は増設

ひばりが丘は、現在、児童館内育成室の他に児童館敷地内のD○という施設を利用していますが、2006年度は児童館内育成室に40名、D○に30名として合

計70名の定員となりました。D○は、公共施設有効活用の一環として午前中は乳幼児に開放していますが、給食のない早帰りの日や長期休暇の時には学童クラブ優先で利用します。

児童館併設学童クラブは例年どおり入所希望者が多い傾向があり、他には保谷第一、本町の定員超過率が特に目立っています。

◆入所申込は忘れずに！

転入の方も含めて今後も引き続き入所申請は受け付けていただけますが、希望の学童クラブが定員超過の場合には必ず入所できるとは限りません。また、今年度通所されている方で今回の入所申請期間内に申請を忘れられた方が相当数いらっしゃったようで、残念なことにご希望どおりの学童クラブに入所できなかったようです。正規入所申請については、お子さんを通してですが個別に書類が配布され、学童クラブからのお便りや市報にも掲載されていますし、以前に比べて申請場所も市役所田無庁舎児童課の他にも学童クラブと児童館でも受け付けされるようになっていきますので、希望どおりの学童クラブに入所するためには、「毎年、正規入所申請期間内」に必ず申請するようにしましょう。

(副会長 伊藤)

ただいま！



情報コーナー

◆2006年度定期総会のご案内

2006年度の定期総会を下記の通り行います。各父母会の代表（代議員）の方のご出席をお願いします。なお、代議員は4/1現在の児童数によって決められますので、よろしくお願いします。

日時：5月20日（土）19：00～

場所：田無総合福祉センター 視聴覚室（予定）変更の場合は連絡いたします。

代議員数：第8条の5 代議員は、各学童クラブ父母会より、児童数15名につき1名選出します。

15名以内 1名 16～30名 2名 31～45名 3名 46～60名 4名 61～75名 5名
76～90名 6名 91～105名 7名

◆総会資料配布のお知らせ

下記の通り、総会資料の配布を行います。代表の方は時間内に必ず取りにきてください。

日時：5月6日（土） 14：00～16：00

場所：田無庁舎 202・203会議室

『日本の学童ほいく』を読んで

3月号の特集は「学童保育の「質」を考える」です。

「学童」を知れば知るほど思うのは、「地域によって違いがあるなあ」

「うちの子は学童に行ってるの」では通じない地域もあるし、「うちでは放課後クラブって言うんだよ」などと呼び方も様々。内容や制度もまた違う。

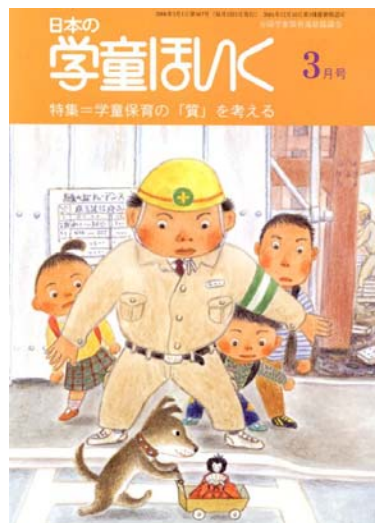
そんな中「うちの学童は質がいい」「悪い」の判断材料ってなんでしょう？

行政？指導員？設備？はたまた私達親の質？

入所を希望すれば必ず入所できると質はいい？待機児童を出して定員を守るのは質が悪い？そんなことが座談会方式で特集となっています。

とても考えさせられる内容です。忙しい毎日ですが、通勤電車の中、子供が寝た後の時間、ちょっとだけでも『学童保育の「質」』について考えてみませんか？

（けやき学童クラブ 宮下）



「日本の学童ほいく」

購読料：3960円（一年間） 只今新年度の申込受付中です。

希望の方には4月号を差し上げています。下記事務局までお申込ください。

お申し込み <http://www.tonpo.net/gakudou/> FAX 0424-67-1883 住所等連絡先をお知らせください。

事務局ニュース

◆雨の中、カップを着てお手伝いいただきありがとうございました。お陰様でフォーラムは大成功に終わりました。

事務局一同お礼申し上げます。

来年もまたぜひご参加ください。

◆一年は早いもので、今年度もこの号でお終いです。

「読みやすい連協ニュースを」と思っていたのですが、いろいろとご報告をと思うと、文字ばかりになってしまいました。来年度は「また読みたい」と思ってもらえるようにさらにがんばっていきますので、よろしくおねがいします。

（菊池）

発行：西東京市学童クラブ連絡協議会

住所：西東京市柳沢2-8-10-108 TEL 0424-67-1883

発行者：田中 謙（会長）

発行日：2006年3月18日

編集：菊池 田中 伊藤 永井 古谷 松本 加々見
溝端 宮下 熊田 佐藤 片井木 小泉 他

メール：renkyo@tonpo.net

メーリングリストもあります。下記ホームページから申し込んでください。

<http://www.tonpo.net/gakudou/>